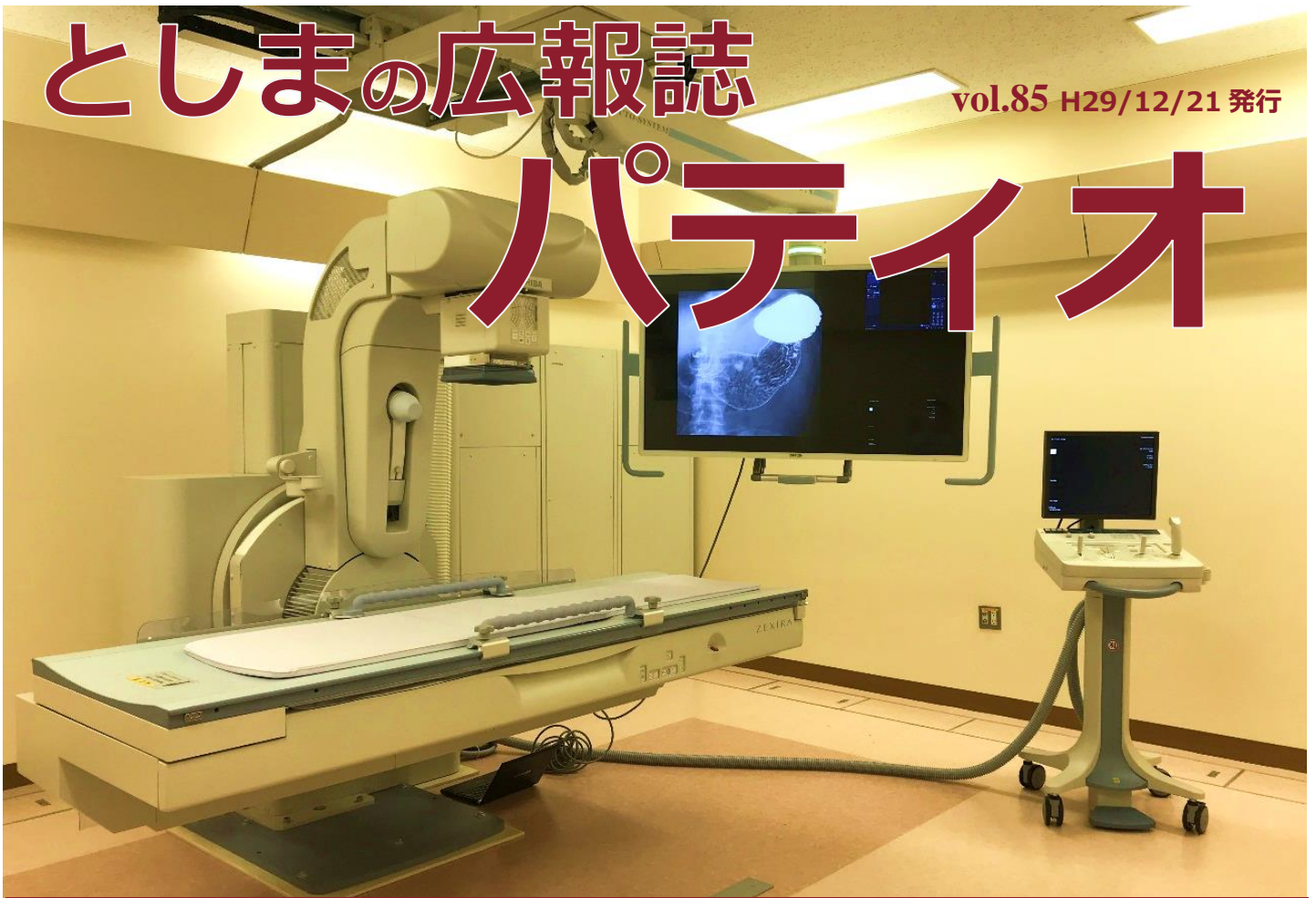


パティオ



X線 TV 装置が新しくなりました

新しいX線 TV 装置は1台が12月11日に設置完了し、来年1月にもう1台新しくなります。
リニューアルしたX線 TV 室は落ち着いた空間で、より快適に検査が受けられます。

新しいX線 TV 装置の特長

①デジタル化により、被ばく低減と高画質を同時に実現
デジタル受像器 (FPD) を採用し、より少ないX線で大視野高精細画像を提供します。

②大型モニター (56 インチ) の高精細画像による診断が可能

大画面により詳細な観察が可能で、様々な検査画像を一画面に表示できます。

③柔軟な動きと可動性に優れている寝台で、人にやさしい検査をサポート

寝台降下度が業界トップクラスの低さで、患者さんのスムーズな乗降を支援いたします。

X線 TV 室で実施される主な検査

食道や胃などの上部消化管検査、大腸など下部消化管検査、腎臓や膀胱などの泌尿器の検査、子宮や卵管の婦人科検査、整形外科領域の透視検査ができます。また、内視鏡と合わせた ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)、PTCD (経皮経肝胆管ドレナージ) に使用しています。



上部消化管造影



下部消化管造影



PTCD



膀胱造影



子宮・卵管造影



豊島病院 予約センター 03-5375-5489 (紹介予約制)

予約受付時間 平日 9時00分~19時00分 土曜日 9時00分~12時00分

心不全とは、心臓のポンプの働きが何らかの原因で低下して、全身に必要な血液を十分に遅れない状態をいいます。心不全の患者さんは薬物療法などに加えて日常生活の管理が特に大事です。その中で今回は入浴の注意点を挙げたいと思います。

入浴中の身体の状態

入浴は体の血管が拡張して心臓が楽になり、リラックスもできるので、慢性心不全の患者さんにもお勧めできます。しかし冬場の入浴や熱い湯は心臓に負担をかけるため心事故につながりやすいので注意が必要です。

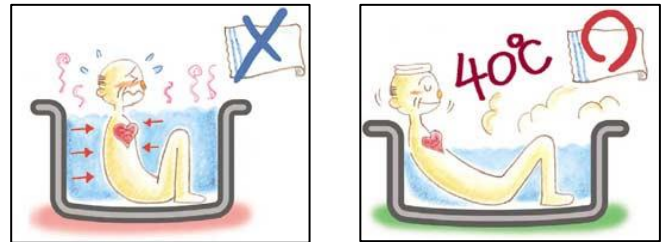
対策方法（事前準備）

入浴する時は、寒くないよう脱衣所や洗い場を暖かくしてから入浴しましょう。入浴の30分前から浴槽のふたを開けておいたり、高い位置に設置したシャワーから浴槽へお湯をはると浴室全体を暖めることができます。

対策方法（お湯の温度）

42～43度の熱いお湯は交感神経の緊張をもたらすため心臓に負担がかかり血圧も上がりますから、40度くらいのややぬるめのお湯にしましょう。深くお湯につかることと長湯は心臓に負担をかけるので、

座位入浴で胸の高さまでとし、入浴時間は10分以内というのが推奨されています。



日本心臓財団 ホームページから引用

<危険なヒートショック>

ヒートショックとは、暖かい所から寒い所への移動した場合、またその逆の場合など、急激な温度の変化によって血圧が上下に大きく変動することで、失神や心筋梗塞、脳卒中などを起こしたり、時に急死に至る危険な状態をいいますが、気温の下がる冬場に多く見られます。

ヒートショックは入浴時に多く発生し、心臓に病気がなくても高齢者で起きやすいので特に注意が必要です。また高血圧、糖尿病、高脂血症の方も、動脈硬化が進行していて血圧のスムーズな維持が難しくなっているので血圧の変化には気をつけなくてはなりません。

当科では、心不全、高血圧の方以外も、狭心症、心筋梗塞、末梢動脈疾患、不整脈などあらゆる循環器疾患の診断・治療に対応させていただいています。気になる症状等がございましたら、一度循環器内科医師にご相談ください。

【公開講座のご案内】

当院では、今年度あと2回公開講座を実施します。皆さまのご参加をお待ちしております。

第2回公開講座：「子どもの発熱と病気」

平成30年1月25日（木）14時00分～15時30分 豊島病院2階大会議室にて

第3回公開講座：「知っておきたい認知症講座～【認知症】という病気のメカニズムと生活習慣～」

平成30年2月17日（土）14時00分～16時00分 板橋区立グリーンホールにて（事前申込制）



誌名である「パティオ」はスペイン語で中庭のことで、当院1階にある患者さんや職員にとっての憩いの場所です

公益財団法人東京都保健医療公社 豊島病院 <http://www.toshima-hp.jp> 東京都板橋区栄町33-1

（病院代表）03-5375-1234（予約専用）03-5375-5489

豊島病院広報誌第85号 発行者：安藤 昌之（豊島病院副院長） 編集：企画係

